

2015 12  
No.117 12  
平成27年12月1日発行  
【毎月1日発行】



## CONTENTS\_主な内容

- 02 平成27年大崎市表彰式
- 04 大崎市のまちづくりをどう思いますか?  
～市民意識調査の結果報告から～
- 06 平成26年度決算の概要
- 10 平成26年度国民健康保険事業の決算状況
- 11 9.11豪雨被災者支援情報
- 12 大崎地域を世界農業遺産へVol.6
- 13 おめでとう!日本人女子初の3階級制覇!!おおさき宝大使 藤岡奈穂子選手ほか
- 14 デジタル防災行政無線の試験運用が始まりますほか
- 16 ぴかいち 視覚障害がある人たちに点字で明りを灯したい  
点字の会「てんとう虫」(古川地域)
- 18 おおさき情報館
- 20 今月のお知らせ



表紙の写真 安全にスムーズに待望の花渕山バイパス開通 (国道108号花渕山バイパス開通式・鳴子温泉地域)

## 広報おおさき12月号 No.117 2015.12

発行・編集 / 大崎市総務部秘書広報課 ☎ 0229(23)5023

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号  
TEL 0229(23)4702 [代表] ☎ 0229(23)2111

Web <http://www.city.osaki.miagi.jp/>  
Email [hisho@city.osaki.miagi.jp](mailto:hisho@city.osaki.miagi.jp)

## 今月の表紙

11月は大崎市にとって2つの大きな出来事がありました。11月8日に行われた「鹿島台駅自由通路開通式」と、11月15日に行われた「国道108号花渕山バイパス開通式」です。

鹿島台駅自由通路整備に当たっては、これまで駅の東側からの出入りができず、地域の中心市街地が東北本線により東西に分断され、大きく迂回しなければならないといった長年の懸案を改善するため、アンケート調査の実施や、市、関係機関、地元住民の皆さんとの話し合いが何度も重ねられました。今回の開通によって、東西の往来が容易となり、駅利用者はもちろん地域住民さんの利便が改善されました。

花渕山バイパスの整備は、道幅が狭く、急カーブや急勾配が連続する状況を改善するため、昭和63年度から宮城県によって整備が進められてきましたが、非常に高度な技術を要する難工事であったことや、平成19年に発生した地滑りによって、1ヶ月以上にわたり通行止めを余儀なくされたことから、平成20年度からは国の直轄権限代行事業として、一層のスピード感をもって工事が進められてきました。今回の歴史的な大工事によって、国道108号のなかでも難所と言われた鳴子地区と鬼首地区を結ぶ区間が、スムーズに安全に通行できるようになりました。

どちらも地域の皆さん待望の開通であり、今回の開通によって、住民の利便性向上はもちろん、他所から訪れる観光客の皆さんの利便も大きく向上するなど、地域の活性化や観光、地方創生にも結びつく大きな出来事であり、これから市民協働による地域づくりにとても、大きな弾みとなりそうです。



①レンガが鹿島台らしさを醸し出す新鹿島台駅舎 ②テープカットとくす玉開きでお祝い。左端にはわらじ村長! ? ③駅近くにお住いの武藤さんご一家を先頭に、自由通路開通による末永い地域の発展を願い、渡り初めが行われた ④利用者を代表して、駅の東側に住む常盤木学園高校3年の菅原美里さんが、自由通路開通の喜びを発表した ⑤さっそく新駅効果! 平日にもかかわらず互市には約8万人が訪れた



※大崎市は自主財源確保のために有料広告を掲載しています。



環境に優しい植物油インキを  
使用しています